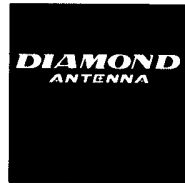


可倒式ミディサイズベース パイプ・ルーフレール用
3軸変角機構付

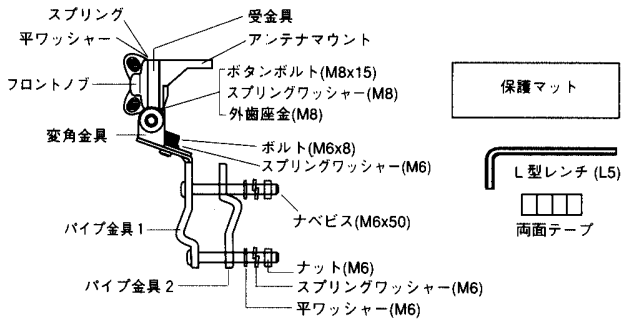
K512

取扱説明書



ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●部品の確認



※車内への引き込みに便利なテフロン同軸採用のケーブルセット(別売)を各種用意しています。必要な長さ、接栓に応じて選べるのであわせてご使用ください。

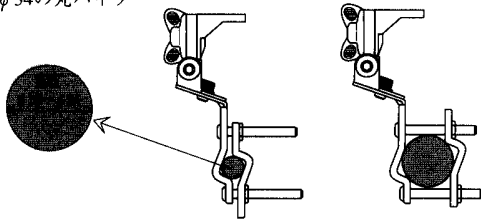
●組立に必要な工具



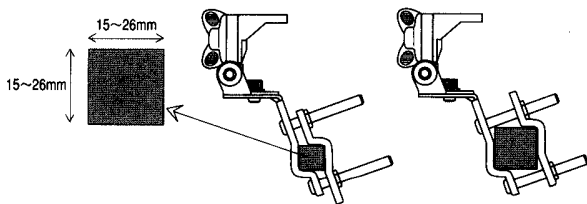
●取付可能パイプおよびルーフレールの寸法

金具の調整でいろいろなタイプのパイプやルーフレールに対応できます。

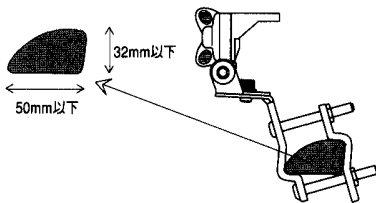
①φ15～φ34の丸パイプ



②一辺が15～26mmの角パイプ



③断面の高さ32mm以下、幅50mm以下のルーフレール

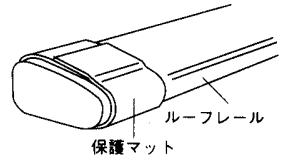


●取付方法

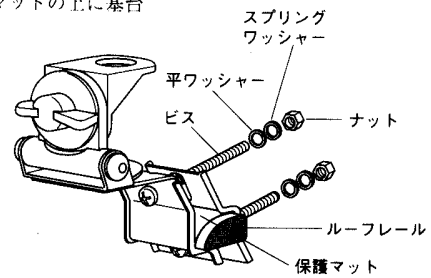
- ①基台を取り付ける位置を決めます。センターライン側のルーフレールに取り付けると、歩道側にある木や障害物からアンテナを守ることができます。



- ②パイプやルーフレールを保護するため、保護マットの裏面に両面テープを貼り、取付場所へ巻き付けます。保護マットはパイプ・ルーフレールの形状にあわせてカットしてお使いください。



- ③右図のように保護マットの上に基台を取り付けます。ナットはスパナでしっかりと締め付けてください。

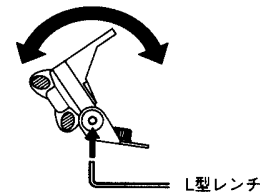


●変角方法(3軸変角機構)

アンテナは垂直になるように取り付けます。特に高利得アンテナほど性能に影響を与えます。調整後はネジおよびノブをしっかりと締め付けてください。

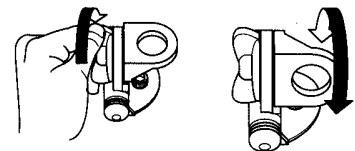
①前後に変角する場合

サイドのネジをL型レンチで調整します。



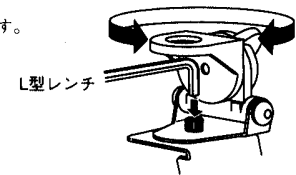
②左右に変角する場合

フロントノブを手でゆるめます。



③水平方向に変角する場合

L型レンチでネジをゆるめます。水平方向に360°回転します。



●ご注意

- ①このベースはルーフレールなどに取り付けて使用するため、車のボディアースが不完全となり、アンテナによってはVSWRの下がらない場合があります。当社のノンラジアルタイプのアンテナを使用すると安定した性能が発揮できるので、おすすめします。
- ②各部のネジおよびフロントノブはしっかりと締め付けてお使いください。
- ③同軸ケーブルとアンテナは当社純正品をお使いください。性能が十分に発揮できます。

■お買い上げいただいた製品は、厳重な品質管理のもとに生産されております。万一運搬中の事故による破損などありましたら取扱店にお申し付けください。

■このベースの仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

1995年3月 初版発行
© 1995第一電波工業株式会社
Printed in Japan 15N16-05